



— 町のスローガン —

豊かな自然みんなで
拓く町 伸びる町

- 町敬老会…………… 2
- 〈特集〉お年寄りの生きがいを考える… 3
- 6月の定例議会…………… 4・5
- 高瀬小竣工式…………… 6



広報

まだまだ達者だよ!!

先月各地区で敬老会が行われました。どこの会場のお年寄りも、この日を待ちうけていたかのように、にこやかな明るい顔で楽しそう……。みんな若々しく元気で、「まだまだ若いものには負けられない」と意気を高くしていました。（関連記事2面）

7月

いがしゆり

No.352

題字 / 佐々木青洋氏（東由利町出身）



思い出話に花を咲かせる(上・八塩館)(下・朋楽荘)



長生きの秘けつは何ですか？

- ▶ 家庭が円満なこと、くふくふいこと
ひまな……法内 連藤さん87歳(男性)
- ▶ いちばん集り出で、話しこむことだ
んすな……大琴 佐々木さん81歳(女性)
- ▶ あんまりヤンギさねで、好きなものを食べ
ゆい) 寝るごとき……蔵 阿部さん86歳(男性)
- ▶ 老人クラブとか、ことばで大学へ行て楽し
まうことば……おぼん 鈴木さん73歳(女性)

ぼくはおじいちゃんがいすきです。
おじいちゃん、きでくるまとか、ろう
らあとか、いろいろなおもちゃをつくっ
てくれます。つくるのがとてもじょうずで、
おみせからかうおもちゃよりも、きにいっ
ています。

おじいちゃん、はたらきものです。
いまは、たんぼのしごとや、はたけで、
なすをうるしごとをしています。

おじいちゃん、きかいをうごかすのが
じょうずで、おとうさんにおしえたりして
います。おじいちゃんはおうちのなかでいち
ばんえらいとおもいます。あきになるとあ
いちけんにでかせぎにいつてしまします。

おじいちゃんがいなくてとてもさびしいです。
おじいちゃんいつまでもげんきでいてく
ださい。



老方地区敬老会で朗読
した、高瀬小1年生、高
橋大輔くんの作文を紹介
します。

久しぶりだなー。マメでえがたごどー。と、
元気のいい声であいさつが交わされていた町
敬老会は、6月18日から23日までの6日間、
朋楽荘、八塩館、大蔵館、克雪管理センター
高瀬館の5か所で、地域ごとに行われました。

今年招待したおじいさん、おばあさんは、
去年より16人多い599人で5年前と比べると
150人多くなっています。

敬老式では、町長をはじめ来賓が、長寿の
お祝いと、長年にわたって町をささえてきた
ご苦労に感謝の言葉を述べられ、米寿を迎え
られた13人に祝金、80歳になられた22人に肖
像写真と記念品、金婚ご夫婦14組に祝状と記
念品が、それぞれ町長から贈られました。ま
た、今年は地域の小学生2人が各会場で「お
じいさん、おばあさんいつまでも元気で長生
きてね」と作文を朗読、おもわず涙ぐむお
年寄りもいました。

祝宴では、婦人会員らの接待で、思い出話
に花を咲かせたり、自慢のノドを披露したり
で、楽しいひとときを過ごしました。

八嶋三保三 オサメ	佐々木信雄 ナツノ	長谷山直助 タツヨ	小松運次郎 ナカヨ	高橋駒蔵 キチエ	小野要蔵 トキコ	佐藤雄三 ヤヨ	小野末太郎 ミヨ	小松三治郎 カツエ	小野喜代蔵 サトミ
70歳	72歳	71歳	76歳	68歳	74歳	69歳	70歳	68歳	72歳
上通	大琴	地下の沢	新町	須郷	横渡	寺田	上里	下小路	上通

木内克規 チエ	佐藤源之助 タミエ	長谷山長一 ヨシエ	小松松次郎 イワノ
68歳	75歳	72歳	76歳
横小路	下小路	田代	山崎

昭和59年度東由利町長寿番付表

	東	方	西	方
横綱	佐々木ミネ 97歳(大琴)	佐藤治吉郎 93歳(寺田)		
〃	佐々木ノエ 93歳(下通)	佐藤アキノ 92歳(五海保)		
〃	遠藤太吉 92歳(新処)	太田ハルノ 92歳(大吹川)		
大関	菅原鶴三郎 91歳(八日町)	鈴木寅治郎 91歳(袖山)		
〃	梅津ヤス 91歳(大琴)	遠藤徳太郎 90歳(新処)		
〃	高橋チヨノ 90歳(上通)	小野勇作 90歳(高屋)		
関脇	小野ハツノ 89歳(祝沢)	佐藤カノ 89歳(新処)		
〃	小野夏五郎 89歳(土場沢)			
小結	遠藤アサノ 88歳(小倉)	大日向キミヨ 88歳(大琴)		
〃	遠藤吉三郎 88歳(新処)	大庭キヌ 88歳(舟木)		
〃	小松アキノ 88歳(新町)			
前頭	遠藤ナヲ 87歳(上通)	遠藤房吉 87歳(新処)		
〃	小松与四吉 87歳(新町)	小松マツノ 87歳(黒沢)		
〃	遠藤トメノ 87歳(桂台)	石綿キヨシ 87歳(大台)		
〃	佐藤トミ 87歳(時雨山)	鈴木政太郎 87歳(袖山)		
〃	小松オツヨ 87歳(新町)			

※ 昭和59年9月15日現在

あやうし
久しぶり
まめが？

祝敬老

金婚おめでとう

特集

お年寄りの生きがいを考える



お年寄りには、長い人生で培われた様々な技術や判断力が……

家族と仲
良く健康で
暮したい

生きがいとは
何だ

老年期といえど失うものばかりが多く、与えるものをもたないという気持ちから、生きがいがない

長寿王国日本とうたわれながらもその陰では、高齢化社会としての様々な問題がささやかれている現実……。しかし、高齢者たちが、これまでの経済成長を支え、豊かな生活のために努め、汗して働いてこられた苦勞をわたしたちは見過ごしてはいないでしょうか。

豊かな今日の日本、われわれの生活があるのは、こうしたお年寄りのこれまでの支えがあったことを忘れてはなりません。

先月、敬老会が行われたことにちなみお年寄りが健康で長生きし、家族と仲良く楽しく暮していくことについて考えてみることにしました。

というお年寄りもいます。

たしかに年をとることで、心身の機能は衰えますが、年をとらなければ生まれでてこない能力もあり、日常生活の中でも年をとってはじめて気がつくこと、思いつくことでもあります。

たとえば、仕事の引きばえを見る目や、生活体験を生かした判断力などは、老年期にならなければ現すことができないのです。

生きがいを見い出すには、こうしたことを自覚し、社会に役立つための小さな努力を地道に続けていくことから生まれます。

つまり、生きがいを持つということは、じつとしていくことではなく、何らかの仕事を持ち、それに打ち込む努力であるともいえま。それが楽しみになったり、仲間づくりにもつながってくるのです。

家族よ

よろしく

しかし、お年寄りがその気になつて物事をやろうとしても家族の理解や協力がなければできません。

最近では、特に若夫婦が、こうしたお年寄りを嫌う傾向にあるといわれ、お年寄りが若夫婦に気をつかい、老人ホーム等にやられはしないかと心配するようになったともいわれます。

こうした気をつかいながらの生活では、ますます老化がすすみ、生きがいをもつどころか、暗い老後の生活となつてしまっています。

老年期は、やがてはだれの身にも訪れることも考えながら、家族全員の理解ある対応が必要とされます。

うつ病になるな

お年寄りがかぜをひいて寝こんだり、手術などではばらく入院したりすると、うつ病やボケ症状になりやすいことが知られています。

うつ病は、体の病気をきっかけに起こることが多く、うつ状態になると、人間は物事に対する関心が薄れ、顔の表情や声にも生き生きとしたところがなくなり、さらに不眠に陥ったり、不安感におそわれたり、また、極端に食欲がなくなったりもします。お年寄りが、体の病気を苦にして自らの命を絶つといった、新聞記事が目につきますが、その多くは、うつ状態による大きな原因ともいえるのです。

こうした病気になるためには、年をとつたら健康には十分気をつけ、重い病気にかからないようにすることが何よりも大切な条件です。



マイペースで 積極的に

楽しく、生きがいのある老後のために健康はかせません。自分の体は自分で守る……ごくあたりまえのことですが、老いてくるとなかなか思うように身を動かすことができないようになります。丈夫な体を保つためのふだんの心がけとして大事なことは

■積極的にグループ活動へ参加すること。

■自分に合った運動をし、汗を流すこと。

■健康診断などの各種検診はかならず受けること。

■意欲をもって物事に当ること。

■常に世間の情報（自治会や町のできごと）に耳を傾けること。

■短時間でも新聞や雑誌等へ目を通すこと。

■家族との対話を持ち、一員としての誇りを忘れないこと。

■おおらかな気持で、あせらず心にゆとりを持つこと。

こうしたことを常に心がけ、健康で長生きをする明るく楽しい家庭を築きあげてほしいと思います。

6月の 定例会

火入れに関する条例を制定

道路維持工事など補正

第5回町議会定例会は6月12日に招集され、会期を2日間と決めたあと、町長が行政報告をし、続いて3議員が一般質問をしました。この後、町国民健康保険条例の一部を改正する条例等5議案を審議、いずれも原案どおり可決し、初日を終わりました。

2日目は、町一般会計の補正予算等4議案について審議、原案どおりの可決をしたあと、総務財政、教育民生、産業建設の各常任委員長が、付託されていた陳情事件について審査結果を報告、1事件を継続審査としたほか、いずれも採択と決定し、閉会しました。



傍聴者の参席の中、議案を審議する第5回定例会議場

一般質問では、川尻議員が出羽丘陵縦貫道、湯沢から秋田への路線の国道昇格と整備促進等3項目について、小野（要）議員が、主要産業の将来展望と具体的な行政施策等5項目について、また、長沼議員が出羽丘陵開発事業促進等

特養ホーム建設地の陳情などが採択

常任委員長報告

3月定例議会で各常任委員会に付託されていた陳情等事件のうち、総務財政常任委員会と教育民生常任委員会が連合審査をしていた、廃校後の学校跡地に福祉施設の建設を（蔵自治会長何部善信ほか36人）については、長谷山（二）総務財政常任委員長が、「本案は、蔵小跡地に特別養護老人ホームの建設を望むものであるが、同ホームの特殊性を考え、蔵小跡地に限らず全町、広域的に審査した。その結果、本案を採択すべきと決定した。なお、同ホーム建設に当っては、敷地拡張、環境整備、眺望のきく設計等に配慮されたい」と報告したあと、他旧校舎の利用についても具体策をたてることの要望をつけ加えました。

教育民生常任委員会に付託されていた医療保険制度改訂反対に

6項目について質問、町長がそれぞれについて答弁をしました。質問の内容と答弁については、町議会が後日発行する「議会だより」をご覧ください。

審議され可決となった主なことがらは、▼国保税の所得割、資産割等の改正▼町火入れに関する条例の設置▼11か所の用水路や暗渠排水路の整備▼町営土地改良事業の経費賦課基準等の認定▼高瀬小グラウンド等工事業者を大木建設（秋田市）に決定、等。

する陳情（秋田県医療保険制度改悪反対連絡協議会代表金野和子）については、同小野（作）常任委員長が継続審査とすることを報告、また、町道片越山本線の改良について（五海保自治会長八嶋耕二郎ほか9人）の陳情を審査していた産業建設常任委員会では、同川尻委員長が現地の調査等で早急の実施を要望する旨を報告、いずれも採択されました。

このほか、共同アンテナ設置助成やスクールバス払下げ等の陳情が即決採択され、2日間の会議を閉じました。

今議会で可決となった補正予算の主なものは下記のとおりです。

なお、町議会議員は、7月22日で任期満了となります。

主 な 補 正 予 算

一般会計予算に13,784千円が追加され、歳入歳出額がそれぞれ、2,102,554千円となった。

歳出補正予算の主なものは次のとおり

▶本町出身小野仁助氏の山林寄贈にかかる記念碑建立に3,300千円

- ▶秋田信英排水路工事に4,000千円
- ▶道路維持工事9か所分5,800千円
- ▶河川の維持工事に2,000千円
- ▶大平スキー場の圧雪車格納庫2階にパトロール員詰所を建築する経費として1,890千円
- ▶農業用施設の災害復旧費として設計委託料に3,500千円
- ▶老人居室整備資金の貸付金とし

て2,000千円

簡易水道事業特別会計では、松沢浄水場の維持管理等の経費1,237千円が追加され、歳入歳出額がそれぞれ342,471千円となった。

大平スキー場運営費特別会計では、一般会計への繰り出し等2,000千円が追加され、歳入歳出額がそれぞれ11,636千円となった。

7月14日は、町議会議員の選挙投票日です。ルールをしっかり守って、子供たちにも恥ずかしくない、選挙を実現させましょう。☆きれいな選挙で、明るい東由利を！

行政報告

今議会定例会における町長の
行政報告の概要は次のとおり

東由利水道拡張整備事業▼消雪

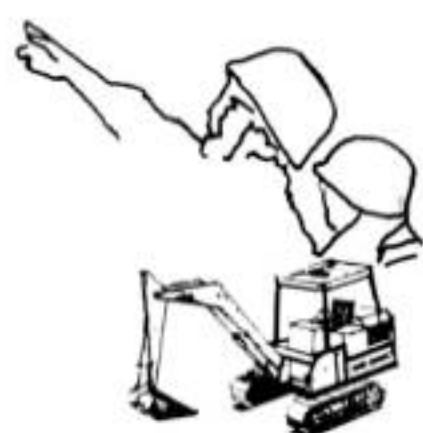
の遅れにより各戸給水施設工事に影響を及ぼしていることや、松沢浄水場水槽に漏水箇所があり、手直し工事を行っていること等から、かなりの遅れをみている。6月20日に試験給水を行う予定で進めている。

高瀬小学校の建設工事▼屋外運動場及び、外構工事は近く着工、

9月30日に完了予定である。

出羽丘陵開発事業▼更田地区の

草地造成工事が完了、本年度播種。



このほか、県道仁賀保矢島館合線に、1千8百万円の事業費が追加されることになっており、追加工事の発注が予定されている。

秋田信英株式会社の工事進捗状況と従業員の募集状況等▼第1次募集による研修要員14名は、既に本社で研修をうけている。第2次募集要員は73名に対して154名の応募者があり現在選考中。

工場の建設状況は、現在躯体工事が進み、内部工事にも入っており8月1日の操業に向け順調に進められている。

育苗センター建設場所▼農協側から西山工業団地の一角を要望されており、議会とも協議を重ねながら検討中。

ふれあいの森造成事業▼

6月4日に八塩ダム周辺の町民いこいの森の一角に昨年誕生児の家族、今年小学校に入学した児童と、その家族の参加を得て、ツツジ300本を植樹、植林意識の啓発と観光開発に向けた、町民自身の心のふれあいによる森林づくり運動が始められている。



工事発注状況▼町が単独で、林

道4か所、町道3か所の道路維持工事を、また、3か所で新設改良工事を行っている。

国の補助事業は2か所、県の補助事業は5か所で現在工事が進め

定額1億8千2百55万2千円が、5月31日完納となり、町税完納が継続19年の記録となった。町民の納税義務に対する理解と協力に心から感謝する。

町制10周年記念式典▼

9月1日に実施する方針で準備をすすめている。町民憲章の制定については同式典で公表できるよう現在部内で検討中。制定にあたっては、町民を含めた委員会を設置して決めた。

小野仁助氏による山林寄付の経緯▼

去る4月28日に本町下吹出身の、小野仁助氏が当町を訪れ、寄



贈の主旨の申し入れがあった。これは治山治水の行政目的にかなったものであり、本町のほか5市町にわたるものであったので、各首長とも協議、これを受け入れることとした。関係手続きについては5市町ともに歩調を合わせながら進めている。

陳情について▼

昭和60年度以降における、主として工事関係等重役施策について、国、県の関係機関や出身代議士に、既に数回にわたり陳情を続けているところであるが、きびしい国、県の財政事情もあり、今後も議員各位の協力を得ながら陳情を重ね、重要施策実現のため一層の努力をしていく所存である。

これは
フルパース

自分で食べられる場合

☆ 軽い食器や持ちやすい食器をそろえます。片手しか利かないお年寄りには、スプーンとフォークが兼用できるスプークが便利でしょう。また食器が動くときは、ふきんをぬらしてテーブルにしいたり、吸着盤で周りをとおさえるといいでしょう。

☆ 寝たまま食べるときは、ご飯をおにぎりにしたり、パンをサンドイッチにしたりして、食べやすい形を工夫しましょう。

寝たきり老人の食事法

食べさせてあげる場合

流動食は吸飲みに、半流動食はふた付きのコップに入れます。マヨネーズの容器の底を切り、先の方をくわえさせてから、半流動食を入れ、自分でしぼりださせるようにするのも1つの方法です。

☆ 軟食・普通食の場合
合は、お膳のものを見せて、好みのものから食べやすい大きさにして口へ運んであげましょう。

☆ 口へ運ぶタイミングは、早すぎてもおそすぎても困るものです。お年寄りの口の動きに合わせて、こちらも食べているつもりでいるとうまくいきます。

☆ 流動食はスプーンで口に運ぶか、吸飲みやストローを利用します。また、熱すぎるものは程よい温度に冷ましてから食べさせてあげるようにします。

献立作りで栄養価や栄養のバランスを考えることは大切な要素ですが、昔から食べ慣れた味、ふるさとの味、旬を生かした料理など、またときには思いがけない趣向も工夫してあげてください。

(町家庭奉仕員・大日向幸子)



4月4日に誕生した高瀬小学校の竣工式が6月8日、同体育館で行われ、町、議会、教育委員会、町功労者、教職員、児童、父母、地域住民など約400人が出席、新校舎の完成を喜び合いました。

地域の新しい

シンボルに

竣工式は午前10時30分に始まり、最初に、畠山町長が「高瀬小学校の竣工により、長い間の懸案であった学校統合計画が終了。ここに至るまでは幾多の曲折もあったが、民主主義の基本理念のもと小異を

誇れる栄光の伝統を

高瀬小竣工式

捨て、大同の選択をされた町の関係機関や町民のみなさまに心から敬意を表する。竣工の感激を忘れず、常に清新な気持ちを持ち続け、町内外に誇り得る栄光の伝統を築きあげるためのみなさまのご努力と協調、団結を切望する」と、式辞を述べました。また、同校畑山校長が「新しく地域のシンボルとして、みんなの心が高瀬小学校という明るく輝く灯が付き、画期的なひとつの歴史の創造と歩みが始まって2か月余、子ども達は思う存分明るく、伸び伸びと活動し、新しい学校での生活にも慣れてきた。設備の整った新しい校舎で学ぶことのできることは本

をいただいたあと、祝宴に入りました。祝宴の余興では、町出身の民謡歌手浅野和子さんを含む「梅若会」の一行が、出演、竣工の喜びを盛り上げました。

食堂 ドッキング

体育館が する校舎

高瀬小学校の建築工事は、昨年6月25日から始められ、校舎(2,027㎡)と給食棟(376㎡)は今年2月25日に、体育館(709㎡)は5月31日に完成しました。

建築費は、グラウンド、外構、その他を含めると5億8千万円を超えるとされています。

校舎は、多様化する今日の教育形態に対応するための工夫がなされており、子ども達の自由な発想のもとに、様々な活動ができるよう空間が多くとられているところに特徴があります。また、食堂と体育館が扉でしきられており、これをあけることによって、自由なスペースで使用できるなど、新しい試みも随所に取り入れられ、県内外の校舎に引けを取らない造りとされています。

開校以来こうしたすばらしい造りの校舎で、子ども達は、伸び伸びとした生活を送っています。

校舎が完成して

児童代表 6年 佐藤 環



児童を代表して環さんがあいさつ。その内容を抜粋して紹介します。

……生活して特に感じることは、この校舎が、とても便利に作られていることです。音楽室や放送室は、ドアをきちんと閉めると外の雑音にじやまされずに勉強や放送をする事ができます。インターホンや放送

のしくみも工夫されていて、いろいろな連絡をすばやく正確にすることが出来ます。……もう1つ感じることは、校舎がとてもきれいだということですね。かべの色は明るくて気持ちよく落ちつきます。……私達は、高瀬小学校の1期生です。これはとても幸せなことです。でも、これから何千人という後には育っていく校舎で最初に生活することになるので責任も重大です。……「高瀬小学校は、校舎も子どももいっぱい」と言われるよう努力したいと思っています。

秋田信英レポート

秋田信英(株)の建設工事は現在内部の作業が順調にすすみ、8月上旬には予定どおりに操業できる見通しとされています。



外構工事も急ピッチですすすめられている

子供の水の事故

6, 7, 8月は交通事故より怖い

右表の数字は、昨年6月から8月までに水死した子供(中学生以下)の数と、交通事故死した子どもの数です。水死が交通事故死の1.5倍にもなっているのがわかります。こうした水の事故は、親の不注意が6割とされています。十分注意しましょう。

	水 死	交通事故死
6月	71人	64人
7月	123人	71人
8月	164人	103人

新校舎の完成を喜ぶ竣工式



道路工事発注情報

(6/14まで発注分)

▶ 仁賀保 矢島 館合線	・施工場所 須郷田 ・工事期間 6/9～8/2 ・契約金額 6,670千円 ・施行業者 長田建設株
▶ 坪倉線 改良	・施工場所 上ノ代地内 ・工事期間 6/16～8/15 ・契約金額 10,700千円 ・施行業者 長田建設株
▶ 仲ノ沢線 改良	・施工場所 跡見坂地内 ・工事期間 6/16～8/10 ・契約金額 2,200千円 ・施行業者 佐々木組
▶ 中ノ沢線 改良	・施工場所 中ノ沢地内 ・工事期間 6/16～8/10 ・契約金額 6,900千円 ・施行業者 村上建設
▶ 石高線 改良	・施工場所 石高地内 ・工事期間 6/16～8/10 ・契約金額 7,800千円 ・施行業者 長谷山建設
▶ 宮ノ下線 舗装	・施工場所 宮ノ下地内 ・工事期間 6/16～7/30 ・契約金額 3,450千円 ・施行業者 長田建設株
▶ 鳥台線 舗装	・施工場所 鳥台地内 ・工事期間 6/16～8/30 ・契約金額 11,300千円 ・施行業者 日本舗道株
▶ 横渡線 舗装	・施工場所 横渡地内 ・工事期間 6/16～7/30 ・契約金額 2,500千円 ・施行業者 大沼組

豊かで住みよい町づくり

毎年繰り返される災害を防止し、少ない下水道や公園を整備して誇れる町づくりを一。そのためには、あなたの協力が必要です。

国土建設週間
7月10日～16日



きれいな花を咲かせて

ふれあいの
森にサツキ
を植樹

町では町制施行
10周年を期として、
八塩ダム町民いこ

植樹には、160人余りが参加し、植え方の指導をうけたあと一斉に植樹開始。丁寧に植え終ると、子どもたちは口をそろえて「早く咲かないかな」とつぶやきながら、自分で植えたサツキをみつめていました。

この植樹は毎年続けられ、花見頃には、桜とサツキで装った美しい森がわたしたちを呼び、心をなごませてくれることでしょう。

いの森の一角に「ふれあいの森」を設置、去る6月4日、新入学児童とその父兄、また昨年生れた赤ちゃんの父兄が、300本のサツキを植えました。

これは、子どもたちの健やかな成長を願うとともに、将来子どもたちが町を離れることになっても、思い出として残ることで郷土愛をはぐくみたいとして行ったものです。

健康大学開講

講師に齊藤 齒
科医院長

健康で快適な生活をしていくためには、健康に関する知識を身につけることが大切であるとして町では延べ4回の健康大学を有鄰館に開設。第1回目は6月4日、70人余りが参加し、熱心に学習しました。

今回の講師は、齊藤長俊先生(齊藤齒科医院・本荘市)で、お話の1部は次のとおりでした。

「入れ歯をつけている人口が急増している。入れ歯は不自由で、大変つらい思いをしてつけているはず。最高の技術を持った歯科医



熱心に聞き入る受講者

が作った入れ歯でも、本物の歯とは違い不便。歯科医療の技術は進んでいるが、こうした恩恵は早い治療ほど大きく得られる。

歯は言うまでもなく日ごろの心がけがいちばん。ドライバーが常にシートベルトをつけ運転すれば万が一の時でも身を守ることができると同じである」……

第2回目(12月)は、秋田大学茂泉陽子助教授による「健康増進講座」を予定しています。

自らの健康は、自らが作り上げるといふ気持ちで、多くの方々の学習が望まれます。

消防団幹部の異動

異動

町消防団役員が任期満了に伴い、次のように異動になりました。6月1日には、新団員9人を含め、辞令が交付されました。(敬称略)

〔副団長〕

梅津栄一→小松正幸

〔分団長〕

1分団 小松正幸→佐藤正志

4分団 大日向淳男→太田久

5分団 佐々木善一郎→鈴木博

〔副分団長〕

1分団 佐藤正志→小松正武

3分団 高橋義男→畠山俊雄

4分団 遠藤熊雄→阿部隆一

5分団 小野邦一→小野勁

〔部長〕

3分団 畠山俊雄→小松利和

4分団 太田久→阿部善孝

5分団 鈴木博→佐々木精喜

小野勁→遠藤芳裕

〔班長〕

1分団 小松正武→小松芳久

3分団 小松利和→佐藤周一

4分団 阿部善孝→小野源一

阿部隆一→石渡豊和

佐々木精喜→梅津嘉人

遠藤芳裕→小野真一

〔新団員〕

1分団 佐藤政雄

2分団 阿曾惣一

4分団 阿部誠、小野一

木島成寿

5分団 小野俊弘、遠藤久

小野栄、梅津正明

おめでとう
おめでとう

やつたね！大勢小
県大会でもがんばれ

郡市
小学校
野球

ま ち の 話 題

町連青が 優勝・準優勝を 独占

第20回コロニー駅伝



ヒット、ホームランの連打で攻める大琴勢

本荘市由利郡学校体育連盟主催の第11回郡市小学校野球大会が、6月15日から3日間、本荘市水林球場等3会場で開かれ、本町から八塩小、高瀬小、大琴小の3チームが出場、その中で大琴小がみごと優勝に輝き、県大会への出場権を獲得しました。同校の優勝は初めてですが、統合前に宿小

が2度優勝しており、校名が変わりながらも、実質3度目の優勝となりました。

出場28校のトップにおどり出た同校の、金浦小との決勝戦では最後まで苦戦、しかし最終回の表の攻撃で、大琴小健児のパワーが爆発、ヒットとホームランの連打で、一挙に6点の大量点を取り逆転。このあと金浦小の反撃も3点にとどまり結局9対7で、大琴小に勝利の旗があげられました。

県大会は、8月16日から3日間の日程で、県立球場等を会場に開催されることになっており、現在これにむけて一生懸命練習をしています。県大会での活躍を、おいに期待したいものです。準決勝、決勝は次のとおり。

準決勝	大琴	117202	/13
	石沢	000050	/5
決勝	大琴	0003006	/9
	金浦	0400003	/7

東 中 バスケットで準優勝 剣道で第3位

6月23日、本荘北中学校で行われた郡市中学校バスケットボール大会で、本町東由利中学校男子チームが決勝に進出、本荘南中との対戦で、惜しくも優勝はのがしましたが、準優勝を獲得、県大会への出場権を手に入れました。

県大会は、7月8日午前10時から行われます。(会場は秋田市立体育館・対戦校は、秋田市立山王中)

また、剣道女子の部では、第3位を獲得。これも県大会への出場が決定、同日に試合が行われます。

個人も大活躍

郡市大会での個人等の活躍(第1位)は次のとおりです。

〈中学校陸上〉

- 池部留美(1年女子100メートル)
- 鈴木貴子
- 長谷山雅子
- 池部留美
- 阿部靖香
- 渡辺浩二(男子走幅跳び)

〈小学校陸上〉

- 安倍 正(男子走高跳び・走高跳び)

選手の顔ぶれ

(太字区間賞)

A チーム	B チーム
黒木利昭 鈴木和雄 藤丸和幸 佐藤幸輝 長谷山順一	高橋京一 鎌田 敏 小野 一 阿部和仁 高橋孝紀



優勝、準優勝で喜びの選手

見習いたい 飼養技術

全国畜産技術発表会で
「律沢の佐藤さんが表彰」

畜産経営の向上等を目的とした、財団法人中央畜産会主催の全国畜産技術発表会で、律沢の佐藤好男さんが秋田県を代表し発表、その内容がすぐれているとして表彰されました。

同発表会は5月29日と30日の両日、東京農林年金会館(港区虎の門)で行われ、佐藤さんは2日目の肉用部会の席上「自家産牛で飼養規模の拡大と資質改良をはかってきた私の繁殖経営」

と題して発表をしました。

佐藤さんの和牛繁殖経営キャリアは20年。昭和48年には、肉用牛生産団地育成事業に参加、以来和牛の飼養頭数を徐々に増やしながら、生産コストはできるだけ抑制、計画的な交配で、自家産牛を基本とした繁殖経営をしてきた実績が高く評価されたものです。

牛の価格が低迷し、苦しい畜産経営が続いている中、こうした佐藤さんの飼養技術を見習うべき点が多いように思われます。



大会で発表する
佐藤さん

ま ち の 話 題

豊作になれ!!

ぼくらの水田

八塩小・大琴小で田植え

「わっ、きもちわるい」「きやーだれかさえて」……子どもたちのはしゃぎ声が、八塩小学校うらの田んぼ

から聞こえてきます。6月2日の午前、八塩小学校4、5、6年生が、慣れない手つきと足どりで田植えをしていました。これは、町が米消費拡大対策事業の一環として、同校を対象に、農家の水田を借り上げて行ったもので、同校の児童の手で稲刈りも行い、収穫したお米は、もちつき大会に利用することになっています。この日、田んぼの持ち主が、まゆ玉をサービス。感激した付き添いの先生が「さなぶり」について特別講話というひとコマも……。

また、6月8日には大琴小学校でも4、5、6年生が田植えを行いました。

同校では毎年、学校農園にサツマイモ、スイカなどを植えており、今年はこれらのほか、稲に挑戦。秋に行う恒例のもちつき大会にむけ、子どもたちはいっしょうけんめい管理し、豊作を祈っています。

今年3月に老方小学校が廃校となったことはまだ記憶に新しいところですが、この廃校を惜しみ、老方小学校の伝統と歴史を後世に伝えたいとする人たちが「老方小サヨナラ実行委員会」を結成、記念誌の発行、記念樹の植樹(移転)、記念碑の建立のほか、廃校前のようすや、地区の町並を

110年の歴史をビデオに

懐しい写真も登場

今年3月に老方小学校が廃校となったことはまだ記憶に新しいところですが、この廃校を惜しみ、老方小学校の伝統と歴史を後世に伝えたいとする人たちが「老方小サヨナラ実行委員会」を結成、記念誌の発行、記念樹の植樹(移転)、記念碑の建立のほか、廃校前のようすや、地区の町並を

て戦前、戦後の古い写真の紹介でふる里意識を高めるビデオを作成、地元をはじめ多くの方々から関心が寄せられています。

このビデオは60分もので、今月末には完成。同委員会では希望者に有料(実費1万円)でお頒けすることにしており、現在申し込みを受け付けています。(連絡先▼電話69-3010・長谷山誠明・下通)

宿出身の小野忠夫君

技能五輪全国大会で4位!

小野忠夫君



5月18日から22日までの4日間東京中野区の全国勤労青少年会館及び千葉市の中央技能開発センターを会場に開催された、第22回技能五輪全国大会に秋田県代表選手として建具製造部門に出場した本町宿出身小野忠夫君(本荘市鎌田建具店勤務19歳)が見事4位に入賞、その腕が全国レベルで高く評価されました。

同技能五輪には、全国各都道府県からの代表選手488名が参加し27部門に腕を競い合いました。秋田県からは小野君を含めて9部門12人の選手が参加しました。

小野君は、昭和56年に秋田高等職業訓練校を卒業したあと、本荘市の鎌田建具店に勤務、建具製造職人として腕を磨き続けていたものです。

店主の鎌田勝三さんは「ふだん真面目によく頑張ってくれている……。大会では少し上気し、見ている方が気がもめた」と語り、平素の実力を出し切れなかった点を悔いながらも、小野君の健闘に目を細めていました。

功績をたたえ

町体協

昭和58年度東由利町スポーツ栄誉賞の授与式が6月25日に町公民館で行われました。

同賞は、町民のスポーツ振興発展を図ることを目的に、町体育協会が、57年度から創設。郡市大会で優勝した個人や団体、また、県大会で3位以内入賞の個人や団体に贈られるものです。58年度の栄誉賞は次の団体と個人に贈られました。(敬称略)

団体

八塩小学校▼郡市ミニバスケットボール大会で優勝
東由利中学校▼郡市中学校野球大会1区で優勝
同中学校▼郡市中学校駅伝大会で優勝

個人

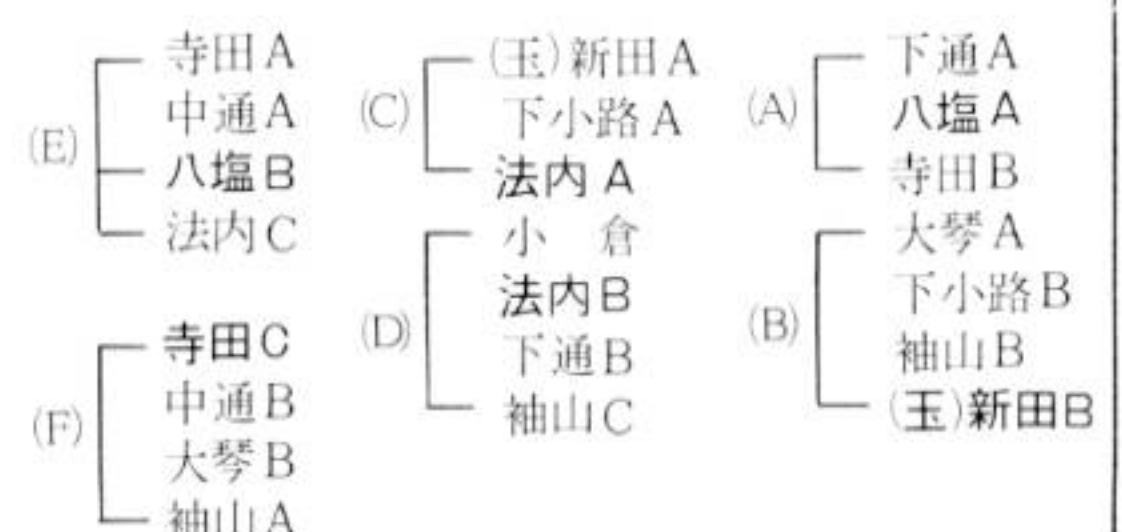
大庭邦子(大琴)▼県民体育大会の女子走り高跳びで優勝、また、東北総合体育大会で同種目優勝
柿崎 梢(老方小)▼郡市小学校卓球大会で優勝
小野久一(東中)▼郡市中学校陸上競技大会の3種Aで優勝
鈴木貴子(東中)▼同大会、女子100メートルで優勝
長谷山雅子(東中)▼同大会、女子200メートルで優勝
石渡恵美(東中)▼同大会、走り幅跳びで優勝
なお、貴子さん、雅子さん、恵美さんは2年連続。

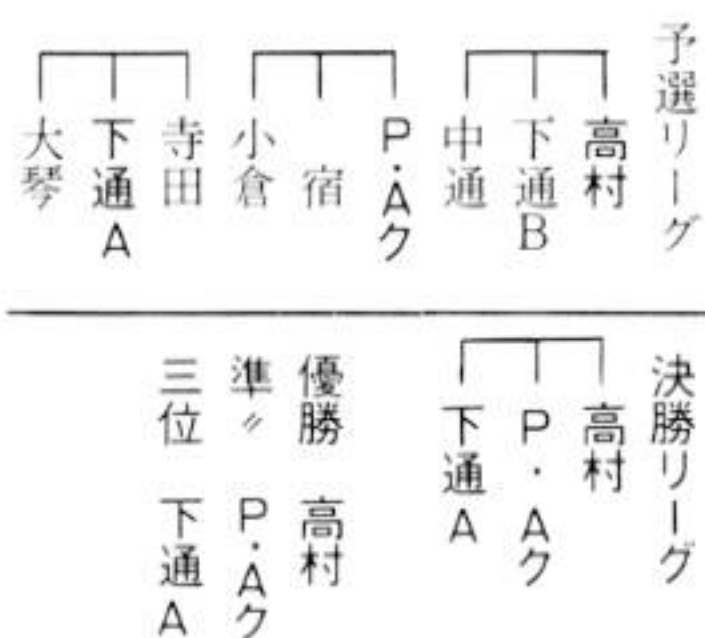


「おーい、早く苗っコたのむー」(八塩小)



「あれれ、足がぬけないよ」(大琴小)





第2回家庭バレーボール大会



山の緑と

治山治水

—小野仁助さんの
篤志を讃う—

「——ふるさとの山ありがたきかな」 ふるさとへの感謝の気持ち、そしてふるさとに住む幸わせをあらわした詩の一節である。

周囲を緑の山並みに包まれ
豊かな大自然に恵まれた、明
るく平和な東由利町。

“国治まりて山河あり”私
の好んで使うことばの一つで
ある。

愛郷の至情を、このことば
の精神を寄りどころとして、

町長の談話室

町づくりを心を燃やし、体あたりでがんばっていきましょう。日頃そのような心境で町政に取り組んでいる矢先。

四月二十七日之夜、小野仁助さんが出身地の方々数名とともに、私を訪ねてくれた。

小野さんは、町の功労者として表彰を受けられた方でもある。相談は概ね次のような内容であった。

「私の持っている山林は、地域の方々が汗を流して育てたもの。私の財産として残すよりも、地域住民の皆さんに役立つよう、社会公共のためにお返ししたいと考えている。この町で育ったものとしての恩返しのもりである。」

できれば、千古の美林として、
治山治水のための山として、また
町の財産として将来に残し、緑の

島山亮三郎

自然の保護と野鳥の保護の森として末長く残したい。この願いをこめて、町に寄贈したい。」

まさに、天から降って湧いてき

まさに、天から降つて湧いてきたと言つてよい位素晴らしい相談であつた。

行政をあずかる者への、治山治水行政上の大きな啓示でもあった。寄贈の規模は、杉立木を主とする概ね五十ヘクタールの山林で一億円を超えるであろう。

わが町の外、小野さんの山林が所在する本莊市、大内町、雄和町、雄物川町、羽後町の各市町にもその主旨を受け入れてもらえれば寄贈したいという。これらを含める

う巨大なプレゼント。
 壮大な篤志と言つてよいであらう。ただただ敬服の一語。

この偉大な篤志が、われわれの後輩に正しく受け継がれ、町の治山治水の礎となるように、今、保存方法を検討中である。

山の緑を見直す論議が、さかんになりつつある昨今である。しかし、森林は一朝一夕にでき上るものでなく、それこそ息の長い年月と、努力がないとでき上らないものである。

「百年河清を持つ」。この心境での努力が必要なのである。

長い年月で育成されたこの森林を、小野仁助さんは社会公共のために何のためらいもなく寄贈された。

この篤志は、凡人のできることでなく、私ども町民にとつて、感謝この上もないことであり、心から敬意を表するとともに、末長く後世に伝え讃えたいと思う。

民話・その3

猫ばねのねが沢黒

ふるさとに
伝わる
むかしばなし



絵・石渡力造さん

むかし、むかし、横渡の吉田さんは、たいそう猫好きな人で、黒猫を一匹飼ってかわいがっていました。その猫は、水晶のような瞳を輝かせ、きりりとひきしまった顔たち、つやつやと光る毛なみといい、だれが見ても「かっこのえ、めんこい猫だ」と、ほめるほどだったのです。

やがて月日がたつと、この黒猫も老猫となつてしまいました。今までは、「戸を開けてくれ。」といったは、戸のそばで「ニャオン、ニャオン。」と鳴いていたのに、ひとりで戸を開けて家の中を歩くようになりました。

ある晩のこと、吉田さんが、たき火をしながらいりりのそばで、わらじ作りをしていたら、今までじいっと、仕事の様子を見ていた黒猫が、ひょいと後足で立ったかと思うとそばにあった手拭いを頭にかぶり、すなりすなりと踊り出したからたまりません。吉田さんは、びっくりぎょうてん、夢ではないかと、自分の手をひねって見たが事実なのです。あまりの驚きで、かわいがっていたことも忘れ、

「ばけもんねえが、ちくしよなば、踊たりなばさねもんだ、家からさつさと出てえげ。」と、夢中になって追いはらってやってしまったのです。

黒猫が追いはらわれてからの吉田さんの家は、何ごともなかったように、いりりの火はとろとろと燃え静まりかえっています。

吉田さんは、かわいかった黒猫のことは思い出すまいと努力しました。それというのも「たたり」になると大変だと思ったからでした。黒猫はそれきり、吉田さんの家には姿を見せることはありませんでした。

不思議なことに、それからというもの、黒沢ながねを通る人の口から、ばけ猫を見たという、ばけ猫騒ぎの声がたえまなくつたわりました。

ある日のこと、法内十二ヶ台の彦四郎さんが黒沢の与惣右衛門さんのお祝い事で、もてなしをうけ、帰り道を急ぎ、やっと峠（今のトンネルのところ）まで登り着いたとき、「あゝ、ええ眺めだ。ここから見る景色なば最高だ、どれ一服（一休み）してえが。」と、ひとりごとを言いながら腰をおろして休みました。

やがて、彦四郎さんは、お酒の酔いもさめてきたし、この付近に、ばけ猫の出るうわさもあるの、日が落ちないうちに帰ろうと思いい、下り坂にさしかかったときのことです。

どこからともなく、なま暖かい風が吹いてきたのと同時に、空が急に暗くなったのです。「いくら、秋の日暮れでも、おがしど。まだ、日が高けはずだ。そげた時間でねど。」と、不思議に思い、もしやばけ猫のしわざでは……と、首に巻きつけていた手拭いに、こぶしほどの石を大急ぎで包み腰に下げながら、ひよいと向こうを見ると、ちようちんの灯がちらちらとこちらに近づいて来るではありませんか。目をすえてよく見ると、さつき、与惣

右衛門さんの家で見送ってくれたあじや子（子守りのこと）が、ニコニコとわらいながら、彦四郎さんに近寄ってくるのです。さては、ばけ猫のしわざだな……。

「このばけ猫め、だましあがつて。」と、用意していた石包みの手拭いを、あじや子の脳天めがけて振り落としました。

「ギャッーウ、ウ、ウ……。」

この世の声とは思われぬ、気味な声を出し、あじや子は、ばったりとたおれてしまったのです。

これを見た彦四郎さんは、大変なあやまちをしてしまった。ガクガクふるえる体と、抜けた腰をおさえながら転がるようにしてふもとの鉄砲さん（横渡の伊東クニヨさんの先祖）宅へ助けを求めにたどりつきました。

その晩、彦四郎さんは、この家に泊めてもらい、翌朝、鉄砲さんと二人で、現場へ行つて見たところ、二人は、思わず、「あつ。」と驚いて顔を見あわせたのです。頭が血だらけになり、見るも無残な黒猫が、ながながと横たわっているではありませんか。

二人は、手を合わせ、ねんぶつをとえながら、「やっぱり、おめだったか。こげたごとして、人をだましたりすつから、このしまつた。」と、山道の近くの小高いところに葬ってやりました。地元の人たちは、二度とばけ猫が出ないようにと、猫塚を作ったとのことでした。

むかしの黒沢峠は、曲がりくねった石ころだらけの山道でしたが、何回となく林道工事がおこなわれ、その猫塚もいつの間にか、あとかたもわからなくなっていました。

でも、黒沢峠から眺める風景は、昔も今も変わることなく、高瀬川の流れと点在する家なみは見る人の心をなくさめてくれます。

東由利町教育研究所発行
の「東由利の民話」より



みんなのひろば

とてもさわやかな感じのひとでした。小倉の勲さんの長女で、父母との3人暮らし。今年の3月まで、秋田市内のデパートに勤めていました。今は、町誘致企業秋田信英(株)への入社が決まり、事前研修で今月いっぱい長野へ。

いちばん楽しいことは……「買ったばかりの車でドライブすること。」

入社が決まってよかったですね…「町内に勤めさせたいという親の希望に応えられうれしい」

理想の男性像は……「自分に厳しく責任感の強い人。外見にはこだわりません」 質問にはハキハキと明るく応えてくれました。

ヤングレポート

遠藤由美子さん
小倉
(23歳)



このページは町民のみなさんのページです。日頃考えていることや、身近かな出来事等お寄せください。

ふるさとへの便り

河辺郡雄和町在住の、渡辺久子さん(旧姓小野・時雨山出身)からお便りをいただきました。

拝啓 緑あふれる候、ふるさとのみなさん、農繁期にむかい、精を出している事と思います。私が住む町「雄和」では、1昨年の空港開港を基に、めまぐるしく変わり、今年はインターハイを8月にひかえ、スポーツ施設も整い用意万端。町全体がそのムードで盛り上がりつつあります。雄和町は、秋田市に隣接しており、車で約20分。雄大な川の流れる静かな町です。

私もこの地に嫁いではや7年。2人の子供に恵まれ、現在施設の1職員として働いております。脳卒中、交通事故等、種々の理由により、身体の機能を損失した青壮年を対象とした施設で、現在利用者数が83名にものぼり、県内各地から集っており、まさに人生の縮図を見る思いです。そんな時ふと思ひ出します。ふるさととの山々を……私の育った時雨山部落から、真正面に仰ぎ見る事のできる「八塩山」は、私のふるさとそのものでした。毎日、この山を真正面に登下校したものでした。特に、遠足で学友と登り、頂上で流した汗の味、下山途中にかいま見たりんどうの色の鮮かさは、

目を閉じると今でもはつきりともみがえってきます。ふるさととの暖さが恋しくなる。と、親子4人でおじやまします。が、道中、息子に幼少時の思い出話を聞かせてやるひとときがとても幸せです。残念なことに私の学び舎、住吉小学校、玉米中学校はともに廃校になってしまいましたけれど、それだけに感慨もひとしおです。今では息子も「お母さん〇〇が見えてきたよ」と、すっかり地名を覚えてしまいました。ブーンと匂う土の香り、久しぶりに見る家族の顔、見なれた家々。やっぱりふるさとっていいですね。

写真募集

広報係では、町民のみなさんが撮った写真を広報に掲載したいと考えています。掲載するところは、
▼今月のアルバム
▼まちな話
▼ヤングレポート

このほか、新しく▼私の赤ちゃんを設ける予定ですので、良い写真があったらお届けください。サイズは普通判で、カラーの場合はネガフィルムもお借りします。なお、写真の出来ばえによって採用できない場合もあります。(69-2110・広報係)

生涯教育奨励員を委嘱

生涯学習についての町民の相談相手として、又町内の生涯学習の輪がいつそう広がることをねらいとして設置されている生涯教育奨励員に、次の10名の方が委嘱されました。

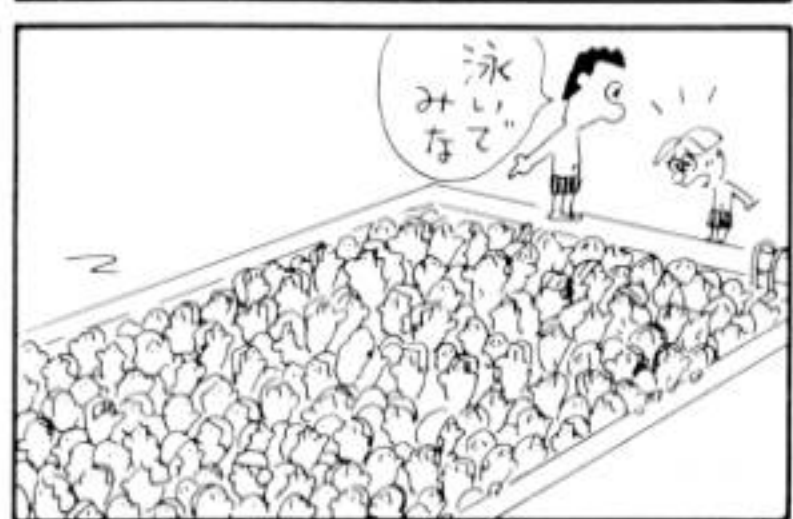
〇〇〇について学習したいが、その方法は？指導者は？等々、不明の点がありましたら、お気軽にご相談ください。

長谷山憲一(地下ノ沢)	3521
小松義嗣(松柴)	2271
佐々木忠夫(中通)	3174
大坂イヨ(下通)	2684
石渡力造(蔵新田)	3451
阿部ナミ(蔵)	3114
阿部重助(野田)	3968
大庭時晴(舟木)	3437
畠山秀夫(袖山)	3910
畠山卓三(袖山)	2268

なお、町公民館では「ブルーの窓口」を設置、生涯学習についての相談を行っています。ご利用ください。
(氏名下は電話番号 市内局番、敬称略)

さわやか君

西村 宗



市民の声を市政に!

町長の面会日今月は20日

今月の本だな

ひとまねこざる6巻▶投げろ魔球カップ怪投手▶燃えろあかつきの星▶破獄▶雪国ものがたり▶村長ありき▶私は明治の秋田女▶エプロンメモ▶中国詩人選集7巻▶子どもと教育を考える12巻▶世界の花2巻▶土門拳写真集3巻▶平山郁夫・私のシルクロード▶写真集桂離宮▶古代エジプトへの旅▶秋田日記▶日本の指導理念5巻▶古文の読み方▶秋田薬草図鑑▶近代日本総合年表▶秋田県社会福祉史▶秋田県教育史▶本荘市史

ABS秋田放送テレビで本町が紹介されます。秋田信英(株)や、町民が登場する15分の番組です。

期 日 7月15日(日)

時 間 午後5時から15分間

番組名 テレビ県民室「シリーズあきた東西南北」

東由利町からこんにちは

テレビで東由利町が紹介されます



今月の行事

- 4日・町畜産共進会
- 5日・ことぶき大学運動会
- 6日・1歳6か月児検診
- 9日・町議選告示
- 9日～17日・循環器検診
- 12日・不用犬捕獲日
- 14日・町議選投票日
- 16日～8月2日・やく年検診
- 18日・町消防訓練大会
- 21日～8月11日・胃検診
- 22日・ママさんソフトボール大会
- 27日～29日・少年自然教室
- 28日～30日・保呂羽山宿泊訓練
- 31日・老方地区栄養改善学級

昭和59年度秋田県保母試験実施

県では、保母試験の受験者を募集しています。受験資格は、高校卒または、児童福祉施設に3年以上従事した者等で、試験期日等は次のとおりです。

▶筆記試験 8月30日～31日 (会場、県庁正庁)

▶保育実習試験 10月2日 (会場、秋田東高校)

申し込み受付は、7月12日から25日までです。詳しいことは町役場住民課にお問い合わせください。

16ミリ映画 ご利用ください

町公民館では、16ミリ映画フィルムの貸し出しをあっ旋しています。劇映画、記録映画、マンガ映画等、気軽にご利用になれます。ご利用になりたい場合は町公民館まで! (個人への貸出不可)

ママさんソフトボール大会が開かれます

日 時 7月22日(日) 8時30分

会 場 集合9時試合開始
台山グラウンド

出場資格 町内在住の既婚女性で編成されたチームに限る。

チーム編成 1チーム監督を含め13名(監督は男性可)

監督会議 7月16日午後7時

ルール説明と抽選を行う。

詳しくは後日チラシ配布

テレホンサービスで
ホットな情報 ☎69-2211

花火を楽しむシーズンとなりました。おもちゃ花火による事故を未然に防ぐために、親は十分注意し、子どもに正しい遊び方をおしえましょう。

おもちゃ花火に
十分気をつけ
ましょう

戸籍の窓口

(5/21～6/20届出・敬称略)

うぶ声



工藤 邦彦(名) 仙一・長男(新) 処
木島 真記(名) 清夫・長女(大) 台

結 婚



(佐藤 幹夫 黒 渕
佐藤のり子 大 琴
小野 和敏 五海保
橋本真由美 横手市

おくやみ



佐々木トミエ(76) 金一郎・母(大) 琴
木島 富三(68) ヨシノ・夫(宮ノ) 前
小野マサヨ(79) 嘉吉・母(中) 通
小松 運蔵(82) キヨミ・夫(中) 通
小松 修造(74) ツネミ・夫(寺) 田
遠藤安太郎(59) シゲ子・夫(新) 町
伊東 貞蔵(67) アキヨ・夫(新) 町
畑山喜市郎(85) サタヨ・夫(新) 田

(大庭 保男 蔵
遠藤 京子 蔵
高橋 伸 郷
竹内 康子 西目町
畑山 吉基 館新田
佐藤 和子 向田

町の統計 6月 5/1～5/31

人口 () 内は前月と比較	() 内は1月からの累計
・男 3,057人 (0)	●出生 8人 (38)
・女 3,125人 (1)	●死亡 5人 (23)
・計 6,182人 (1)	●結婚 3組 (6)
●世帯数 1,424世帯 (1)	●離婚 0組 (1)
●ゴミ処理量..... 32 t (149)	
●火 災..... 0 件 (0)	
●救急車出動回数..... 7 件 (45)	
●交通事故..... 0 件 (4)	
●交通死亡事故「0」継続日数 1,446日	
●有隣館利用者数..... 1,782人 (6,275)	
●朋楽荘利用者数..... 614人 (2,349)	